

## 大学入試の基礎知識 vol.10 【私立大学の一般選抜での受験方式】

私立大学の入試は大きく分けると学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜に分けられます。前の二つは以前にも記事にした「年内入試」にあたります。今回は一般選抜について解説します。

### 日程は？

主に2月初旬から中旬にかけて実施されます。国公立大学と違って統一された日程ではなく、各大学が独自に日程を決めることができます。つまり日程が重ならなければ何校でも受験することができるということです。



### 入試科目は？

大学や学部によって違いはありますが、オーソドックスなのは文系学部、理系学部とも3科目を受験するパターンです。最も多いのが文系学部は国語・英語・地歴公民数学から3科目、理系学部は英語・数学・理科の3科目です。最近では、経済学部など文系でも数学を必須とするところもでてきました。

### 少数の科目での入試・傾斜配点型入試

学部や学問の特性に応じて科目や配点を変えた入試パターンを実施するところがあります。苦手な科目が入試から外れていたり、得意な科目の配点が高い入試パターンがあれば上手く利用しましょう。またオーソドックスな3科目型と日程が異なっていて、1つの学部・学科を2回以上受験できる大学もあります。

### 英語資格・検定試験利用型入試

英検や他の英語資格の保持者や一定のスコア以上の受験生に対して加点をしたり、最低得点を保証したりする入試パターンがあります。また、英語の試験が免除されることもあります。

英語だけでなく日商簿記などを利用できる大学もあります。

### 共通テスト利用方式

1月第2週末に実施される大学入学共通テスト。この共通テストの結果をもとに合否を判定する試験方式があります。国公立大学の受験生が受けるテストというイメージがあるかもしれませんが、全私立大学の約90%で共通テストの結果をもとに合否判定を行っています。共通テスト利用方式の大きなメリットは実際に試験を受けに行かなくてもよいということです。国公立大学の志望者にとっては試験対策をする手間が省けますし、私大専願者にとってはチャンスが広がります。

### 後期入試

私立大学の一般選抜は2月初旬から中旬と書きましたが、2月下旬から3月にかけて入試を実施する大学もあります。「後期入試」だけでなく「2期入試」「3月入試」など大学によって呼称は違います。

2月初旬での入試の合格発表が終わってから出願できます。つまり志望校に合格できなかった場合に再チャレンジできるということです。しかし募集人数が少ない場合が多く、倍率も高くなりがちです。

